

雇用延長により、65歳まで働ける社会となりました。これまでは50歳というと定年までの年数をカウントダウンする年代でしたが、65歳まで働き続けることを考えると、15年もの長い時間があります。これからは、50代の社員を活性化させ、これまでの豊富な経験を活かして、更なる貢献をしてもらうかどうか、企業の業績を大きく左右すると考えられます。定年までの残りのキャリアを考えるだけではなく、これからさらに貢献したい、活躍し続けたいという気持ちを新たにするための研修となります。

<対象者> 40代後半～50代前半の社員

<プログラム>

時 間	項 目
午前	◇オリエンテーション 1. 社会環境の変化 (1) 取り巻く環境 (2) 労働人口の変化 2. 今後の働きがいを考える (1) 働きがいとは (2) 残りの会社人生をどう過ごすか？ (3) DVD 視聴 『駐車場のおじさん』 ・DVD視聴 ・感想交流 (4) 組織の中でどうありたいか(こんな風にはなりたくない) (5) ケーススタディ 『三浦さんと鈴木さん』 (6) 私の働きがいとは
	昼 食
午後	3. 組織での貢献の仕方を考える (1) これまでの経験を活かせる貢献の仕方とは ・グループ討議 (2) 活躍の仕方は様々 ・後進指導、技術伝承 ・スーパー専門職 ・マネジメント職の追求 等 (3) 会社からの期待、会社の制度 4. これまでのキャリアの振り返り (1) キャリアの棚卸 (2) スキル・能力の棚卸 (3) 強みの把握 (4) これから身につけるべき武器 5. 会社人生を充実させるためのキャリアプラン&ライフプラン (1) キャリアデザインの重要性 (2) ワーク・ライフ・マネジメントの考え方 (3) 介護とキャリアの両立 (4) 個人ワーク(キャリアプラン&ライフプラン) (5) グループ討議 ◇ まとめ ～活躍し続けることで、周囲から必要とされる人材であり続けるために～